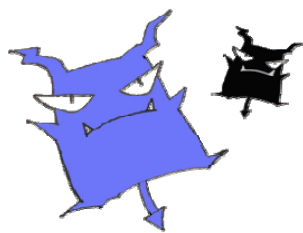


平成22年1月

京都市こどもの感染症



★☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

1位	2位	3位
インフルエンザ	感染性胃腸炎	水ぼうそう（水とう）
インフルエンザは例年、季節性インフルエンザが1月頃にピークを迎えますが、今シーズンは、去年の8月頃から新型インフルエンザが大流行しています。特に乳幼児は、合併症を起こす場合がありますので、気になる症状があれば、事前に医療機関へ相談のうえ、マスクをして、受診しましょう。	発熱、下痢（げり）、おう吐などが主な症状です。下痢やおう吐が続くと脱水症になりやすいので、水分補給をこまめに行いましょう。	伝染力が強く、肺炎・脳炎・ずい膜炎などの合併症を起こす場合もあります。予防接種（1歳以上、1回接種）は任意ですが、集団生活をする場合は接種されることをお勧めします。感染したら、すべての発しんがかさぶたになってから登校（園）しましょう。

お子様に熱が出たら…



1 安静にして、「朝・昼・晩」を目安に体温を測定し、症状とともに、メモしておくことで受診時に役立ちます。

2 インフルエンザを疑う症状が出たときは、かかりつけ医や近くの診療所へ事前に電話で連絡し、受診しましょう。

○ 発熱に加えて、以下の症状があれば、医療機関へ症状を伝えることができるだけ早く受診を！

- ◆ 食欲がない、水分がとれない又は半日以上おしっこが出ていない
- ◆ 呼吸が速い、息苦しそうにしている
- ◆ おう吐や下痢が続いている
- ◆ 普段見られない言動が見られる
- ◆ 呼びかけに答えられないなど反応が鈍いなど



過去にけいれんを起こしたことがある、その他気になる症状があるときは、医師に相談してください。

○ 深夜に発熱したときは



深夜の受診は、お子様の体に負担となりますので、熱があっても症状が軽く、水分がとれているようなら、お家で安静にし、翌朝、受診するようにしましょう。

赤ちゃんは、容態が急変しやすいので、こまめな観察が必要です。

また、解熱剤の中には症状を悪化させるものもあるので、必ず医師や薬剤師の指示に従ってください。

※ 夜間にお子様に気になる症状があるときは【小児救急電話相談】

午後7時～午後11時（土曜日は午後3時～午後11時）であれば、全国统一番号である【#8000】番に電話することで相談できます。（ダイヤル回線又はつながらない等の場合、075-661-5596に直接ダイヤルしてください。）